

晩餐会への招き

目標：私たちは、本来招かれていないのに恵みで神様の御前にいるのだと知る。

聖句：「いますぐに、町の大通りや小道へ行って、貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の悪い人などを、ここへ連れてきなさい」(ルカ福音書 14：21)

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、申し出を拒んでいるイラスト、宴会に連れられている貧しそうなのイラスト

対象者：小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5

留意点：譬え自体がまず子供たちの心の中に残るようにしたい。その上で、一人一人が恵みを受けて今ここにいるのだと気付かせたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	イエス様の譬え話は、私に話してくれていると信じて聴くと、一人一人が聖霊様が分らせて下さいます。 16節～24節の内容を、イラストなどを活用しながら、お話しする。		ただのお話としてではなく、神様の御言として聞く姿勢を育てるための取り組みの一環。
課題探究	6分	あなたはここに出てきた人の中の誰だと思えますか。 補助) なぜそう思いましたか。 (1) 彼はどうしたらよかったと思えますか。 (2) あなたはなぜ祝宴に選ばれたと思えますか。主人である神さまが一方的に招いて下さったのです。 補足) 私たちが今教会に来れているのは、最初は選ばれていなかったということなのかもしれません。	<ul style="list-style-type: none"> ・畑を買った人 ・牛を買った人 ・結婚した人 ・貧しい人 ・不具の人 ・盲人 ・足なえ ・しもべ ・主人 	<p>話すための準備として、あらすじはおさえておくこと。断った人々の内容・意味合いまでは説明せず、書いてあることをそのまま語るようにする。時間・理解力との兼ね合いである。</p> <p>自分はこの中のどこでもないという子供には、最初に言った自分に話していると思う人に語って下さるという命題を思い起こさせ、もう一度、自分は誰だと思えるか考えさせる。答えと理由には、よっぽど目標とかけ離れたものでないかぎりそのまま受け取っていく。しもべ、主人などはなかなか出ない答えだと思う。その子の特徴を汲み取れるかもしれないので、この答えが出た場合は理由を詳しく聞いてみたらいいと思う。選ばれて拒んだ人を言った子供は、礼拝出席に対する不都合がある可能性があるため、可能な範囲で聞いていきたい。</p> <p>選ばれて拒んだ人(1)と、恵みで招かれた人(2)とで、対応を変える。 (2)の答えを踏まえて、恵みとは、理由なく施されるものだと掴ませたい。 ユダヤ人を拒んだ人に見立てる読み方があるが、その考え方には入らないよう留意する。</p> <p>この補足は、必要があれば理解を助けるために行っても良い。</p>
まとめ	2分	イエス様の御心が分かるよう、期待しながら聖書を読んでいきましょう。 暗誦聖句		182号テキスト全体のテーマからの反映。